



シーナカリンウィロート大学 (SWU)
人文学部日本語学科 (タイ)
ブンラット スッパワット
Boonrat Subhawatt

<参加した留学プログラム>

明治大学情報コミュニケーション学部による
「学部間交換留学生受入プログラム(2014年度)」

1. いつ日本語を勉強し始めましたか？

高校1年生の時からです。

2. なぜ日本へ行こうと思いましたか？

私は小さい時から漫画や小説や文化やファッションなどに興味を持っていました。ですから、私は日本へ行って勉強したいと思いました。

3. なぜ明治大学のプログラムに参加しようと思いましたか？

私が3年生の時、シーナカリンウィロート大学で行われた明治大学の情報コミュニケーション学部との交流プログラムに参加しました。この活動を通じて、私は多くの日本人と友達になりました。また、私が高校生だった時、明治大学から私の高校を訪問してくださった方もいたので、すでに明治大学のことを知っていました。ですから明治大学は私の生き方や勉強のスタイルにとっても合っているなと思いました。

4. 明治大学のプログラムで、印象に残っていることはどんなことですか？

まず、友達のことです。明治大学には留学生のためのたくさんのプログラムがあります。これらのプログラムを通じて私たちは友達になったり、お互いを知ることができる上、学習環境も楽しいです。自分の国へ帰って来てからも、私たちはまだ絵葉書のやり取りをずっと続けています。もし明治大学のプログラムに参加しなかったら、こんな素晴らしい体験はできなかったと思います。次に、先生のことです。プログラムの期間中、先生方にお世話になりました。先生方はいつも私たちの問題を聞いてくださり、どうすればいいかを教えてくださいました。プログラムの期間中、先生方が私たちを励まし、向上させて下さったおかげで、実際の状況や日々の生活の中で私たちが得た知識を活用できました。私がかつとも楽しかったクラスは波照間永子先生(目地大学情報コミュニケーション学部准教授)の「身体コミュニケーション」のクラスでした。日

本語ディスカッションのクラスは大変励みになるクラスでした。私たちは考えや意見を交換したり、予想外のいろんな考え方を理解することを学びました。こうした勉強はこのプログラムでもいい印象が残っています。

5. このプログラムで学んだことは何ですか。また、将来役にたつことがありますか？

明治大学のプログラムから学んだことは多かったですし、私の日本語能力も向上しました。そして、物事の見方は広がり、特に海外での生活をどのようにしたらいいかという貴重な経験をしました。とりわけ、明治大学は日本で有名な大学ですから、明治大学で勉強したことは将来仕事を探す時に有利になると思います。

6. このプログラムの中で推薦できる点は何ですか？

明治大学は都心にあり、交換留学生用の宿舎もあるので大学へ行くのはとても便利です。それに、先生も学生もしっかりサポートしてくれますので、留学した学生たちは知識や経験を必ず得られます。

7. 将来、どんな仕事をしようと思いますか？

将来、私は日本語を使って日本人と一緒に働きたいです。

8. 東京とバンコクはどのような点が違いますか？

東京もバンコクも大都市で物価が高いです。we can see various major situations of the countries going on clearly 国の様々な大事な出来ことを知ることができます
東京には電車と地下鉄など優れた公共交通システムがあり、人々の生活を大変快適にしていると思います。そして、私は東京では何を着るか、私自身のファッションをどうするかを選ぶ自由があると感じました。

〈この原稿は明治大学アセアンセンターがご本人にインタビューして作成しました。〉

MEIJI UNIVERSITY

明治大学情報コミュニケーション学部が実施する学部間交換留学生受入プログラムの詳細については、次のウェブサイトをご覧ください。 <http://www.meiji.ac.jp/infocom/office/exchange.html>